

令和3年度 小規模多機能型居宅介護 「サービス評価」 総括表

令和3年12月 8日

くろさき小規模多機能ホーム

大上 美佐子

法人名	社会福祉法人 普代福祉会		代表者	大上 重信		法人・事業所の特徴 ・普代村の黒崎地区に立地し、旧小学校の一部を改装して開所した小規模な施設です、地域の方々との距離は近く、訪問・面会・差し入れ等も多く利用者様との馴染みも出ています。 ・施設理念である「あなたの笑顔のお手伝い」をモットーに職員一丸となってお世話させていただきます。					
事業所名	くろさき小規模多機能ホーム		管理者	大上 美佐子							
出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計	
	0 人	4 人	4 人	0 人	1 人	1 人	0 人	2 人	2 人	14 人	
項目		前回の改善計画		前回の改善計画に対する取り組み・結果		意見		今回の改善計画			
A.	●事業所自己評価の確認		●介護力(直接生活介助)の向上を図る。 ●チームワークを高める。		●それぞれについて研修を行い、改めて理解を深めた。		①数値目標(家族への連絡回数、月〇回)を計画に入れれば、具体的に評価もしやすくなる。 ②介護員の人達は、一生懸命頑張ってくれていると思う。 ③職員の皆さん、全体的に仕事を一生懸命取り組んでいると思っている。		①利用者からの要望(本音)を普段の関わりの中から聞き出す工夫・スキルを身に付ける。		
B.	●事業所のしつらえ・環境		●利用者、家族、職員が協力し、花や野菜を育てる。		●コロナ禍で、外部からの協力は要請しなかった。職員と利用者と一緒に花植えや野菜作りが出来た。		①ヒヤリハット(転倒など)の要因となる施設内の設備(家具の配置など)の確認、見直しが必要。 ②花植えや野菜作りは、非常に良いことだと思う。 ③散歩をしながら、畑や花壇を見て心なやませてもらっています、コロナが終息したら、皆でできると良いですね。 ④花や野菜作りは、利用者にとって元気や力を与える大きな要素と思っているが、手入れ等管理が大変ではないか？ ⑤利用者・スタッフの動線に、余計な物を置かないで広くしっかりとしておくことが重要と思います。		①利用者が和んで過ごせるように、季節に添った内装を心掛け、利用者と一緒に創作する。 ②転倒などのリスク回避のために動線などの確保に努める。		
C.	●事業所と地域のかかわり		●事業所のPR活動を行う。(民生児童委員定例会議や黒崎地区自治会会議にて)		●広報誌(新聞)の発行は出来たが、民生児童委員会議や地域の会議には参加することが出来なかった。		①包括主催の事業に、利用者・職員が参加していて良いことだと思う。 ②民生児童委員会議も地域の行事も、コロナ禍で開催が出来ていないので仕方ないと思う。 ③黒崎地域活動拠点施設が多機能ホームと隣り合わせにある事でのメリット部分を今後色々な場面で進めてみてはどうか？		①今後も、包括の事業には積極的に参加し、地域・他者との関わりを密にしていこう努力する。 ②各種会議に参加させていただけるよう各委員会に働きかけ、小規模多機能ホームのPRを行う。		

D.	<p>●地域に出向いて本人の暮らしを支える取り組み</p>	<p>●事業所単独の広報誌(年2回発行)を活用し、地域の方へ「相談できる場所」であることを周知する。</p>	<p>●広報誌(新聞)の発行は出来たが、相談できる場所としての位置づけとしては理解して頂けてるかは不明。</p>	<p>①事業所の理解については、法人全体での取り組みだと感じている。介護が特別なものではないと理解いただくことで、相談しやすい環境ができるのではないかと。 ②広報誌(新聞)の発行は良いことだと思う。 ③広報誌(新聞)の発行は、情報提供としてありがたい訳で、カラーで出して頂ければ今以上に喜ばれるのではないかと。 ④どのくらいの相談ができるのか知りたい。</p>	<p>①広報誌(新聞)は、年2回の発行を継続し、カラーとする。 ②相談できる場所としては、口頭・各種委員会の会議への参加・広報誌(新聞)で周知する。</p>
E.	<p>●運営推進会議を活かした取り組み</p>	<p>●利用者も参加してもらおう会議を試みる。(利用者は輪番制で、2～3名程度)</p>	<p>●実施できていない。</p>	<p>①昨年は、コロナ禍で会議自体が出来ない状況でしたから、今後の会議での検討を期待したい。 ②利用者参加は、ハードルが高いと思いますが是非チャレンジしてみてください。 ③運営推進会議を活かした取り組みは改善につながっていると思う。 ④利用者参加の目的が分かりません。 ⑤「地域の心配な方」について、地域ケア会議との連携があれば効果的だと思います。 ⑥当初は、利用者代表が参加していたと思いますが、会議の途中で具合を悪くされるという事があり今でも頭に残っています、利用者の参加に関しては慎重に考えた方が良くと思います。 ⑦推進委員は、主に会議出席だけで、見ていない部分が多々ある訳で、職員の活躍に期待するのみ、また応援と協力はしていきたい。</p>	<p>①福祉(介護)に関する地域の困りごとをテーマに挙げていただき援助できるように進める。</p>

F.	<p>●事業所の防災・災害対策</p>	<p>●施設での災害に対する取り組みや施設の設備などを地区の皆様様に周知する。</p>	<p>●災害に対する訓練は行ったが、地域の方々と交えての訓練はコロナ禍で実施できていない。また、AEDなどの設備についての周知はできていない。</p>	<p>①最近災害が多いので、独り暮らしの利用者の方などの避難時に地域の方と連携が必要なのかなと思います。</p> <p>②黒崎の地域柄、水害や津波などの被害がない所ではありますが、心臓マッサージ(AED)の機械があるようなので、それは知らせても良いと思います。</p> <p>③コロナ禍の中なので、災害に対する取り組みだけでなく地域と連携した大規模の取り組みが難しいと思います。消防の方も委員になっていますので運営推進会議と合わせて防災計画のチェックをしてはいかがでしょうか。</p> <p>④災害は、いつ来るか分からないので避難訓練だけでなく、夜(暗くなってから)実行してみても良いのでは、また地域の方との連携が必要だと思います。</p> <p>⑤地域の方々と交えた訓練をしてもらいたい。</p> <p>⑥最低限、火災発生時に職員一人一人が「どう行動するのか」把握し、率先して行動が出来るよう日頃から訓練を重ねることが必要だと思います。</p> <p>⑦日頃からの訓練は大切だと思います。コロナ終息後には、計画の実施が望ましいと思います。</p> <p>⑧大きな地震などの場合、黒崎地域活動拠点施設に利用者を移動させるといった手段も考えておくべきではないかと思う。</p> <p>⑨AEDの訓練の機材が分署にありますのでご利用ください。</p>	<p>①地域と連携して、避難訓練や災害訓練が出来るよう、地域の消防関係者と話し合いの場を設けて実施する。</p>
----	---------------------	---	---	---	--